



# 医療福祉・在宅看取りの (H30/5/7) 地域創造会議 通信 第57号



平素は、「医療福祉・在宅看取りの地域創造会議」へのご理解・ご協力ありがとうございます。

桜も散り、新緑の季節になりました。緑に囲まれてゆったりと森林浴をしてみたいところです。さて、今年の連休は快晴から雨、そしてまた晴れ、となかなかの気分屋でしたね。気温も上下し、服装の調節に苦労しました。そして今、体調を崩さずに連休明けを迎えられてちょっとほっとしています。暑くなっ

てはきていますが、油断すると風邪をひいてしまう季節でもあるので、みなさんもご注意ください。

## 第64回ワーキング会議 (4/26)

滋賀県庁 5A会議室

今回のワーキングは「ざっくばらん会」という小児在宅医療を考える団体との合同開催となりました。

初参加 29名を含む 67名にてワーキングを行いました。

〈参加職種：医師・看護師・保健師・薬剤師・栄養士・理学療法士・介護福祉士・教員・学生・行政など〉



〔写真〕 情報提供の様子 左：柴田さん 右：角野さん

柴田さんには地域包括ケアステーション「森のお家」(多機能型重症児者等デイサービス「ふぁみりい」、特定相談支援・障がい児相談支援「ちゃれんじ」、訪問看護ステーション「ふれんず」)について、角野さんには医療的ケアが必要な子どもと健全な子どもと一緒に過ごすことができる包括的な保育を行う「オリーブ守山保育園」についてお話しをしていただきました。

### グループワークより

- ・「希望を伝える」という言葉が印象に残った
- ・医療と教育(保育)が仲良くなればいいな
- ・医療的ケアが必要な子を持つ、働きたいお母さんたちが安心して預けられる場所になっている
- ・行政の谷間にある当事者ニーズ(子ども、家族、看護師、保育士 etc)を拾い上げ、実践している
- ・このような施設を必要としている子どもは県内に点在している  
これをモデルにして地域ごとでできるように広がってほしい
- ・医療的ケアが必要な子どもと健全な子どもと一緒にいる、というのがいい  
この子たちがどのように育っていくか期待

### Q 人材確保はどうしていたのか

「柴田さん」：大きな広告はないけれども、こういう取り組みをしたい、と周囲に伝えるとその知り合いや親戚で同じ思いを持っている人に声をかけてくれた。そのため、自身の役割をしっかりと理解しながら取り組んでくれている。

### Q 看護師と保育士それぞれの方向性は合っているのか

「角野さん」：看護師も保育士もお互いに、「看護とは・保育とはこういうものだ」という思いや考えを持っている。両方の方向性を合わせ、かつその可能性を引き出しあえるように、今、すり合わせをしている段階。

↓↓ 活発な意見交換と質疑応答の様子↓↓



柴田さん、角野さん、ありがとうございました！！

### 次第

18:30～ あいさつ・自己紹介

18:45～ 「この4月から新たに始めます！  
～地域の子どものために～」

話題提供者：

訪問看護ステーションふれんず

柴田恵子さん

訪問看護ステーションオリーブ

角野めぐみさん

グループワーク・発表

## H30年度 行事予定

### 次回のワーキンググループ会議

第65回ワーキンググループ会議

日時 H30年5月31日(木)

18:30～20:00

場所 草津市まちづくりセンター

301会議室

テーマ 「自分の最期を望むかたちで迎えるために～救急現場から～」

話題提供者 東近江行政組合消防本部

近江八幡消防署竜王出張所

所長 澤田剛さん

東近江行政組合消防本部警防課

課長補佐兼救急係長 三井利浩さん

### ☆総会・研修会☆

8月26日(日)PM

ピアザ淡海 大会議室(大津市)

### ☆県民フォーラム☆

11月11日(日)PM

野洲文化小劇場(野洲市)

講師：上野千鶴子さん

こんなことを話してもらいたい！というご

希望がございましたら事務局まで！！

今年度より運営事務局職員が替わり  
ました。よろしくお願いします！

医療福祉・在宅看取りの地域創造会議運営事務局

(滋賀県庁 医療福祉推進課内)

中村愛子・三上有紀子

TEL 077-528-3529 FAX 077-528-4851

E-mail info@chiikisouzoukaigi-shiga.jp